

ICTを活用した小学校外国語活動・交流学习の取り組み ディベア・プロジェクトについて



1. 構想

(1) 浜益小の内外環境 (SWOT) 分析

	外部環境	内部環境
強み	<ul style="list-style-type: none"> ・強力な地域の支援 学社融合の沖揚げ音頭 ・協力的で実力あるPTA ・恵まれた自然環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数を生かした学習 学習習慣と学力の定着 ・自然体験と郷土学習 ・整備された教育ICT環境
弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化 ・浜益高校の閉校 ・僻地で市街から遠い 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数減少 ・平成25年に一部複式化 ・義務教育修了後、地域を離れなくてはならない現実 ・僻地性に起因する生活経験の不足

(2) 浜益小学校学校経営の重点

- ・新しい時代に通用する確かな学力の定着
- ・郷土を愛する心と絆を大切にする広い視野の育成

(3) 田岡市長さんのお話

浜益小学校のICT環境を整備する意図について、田岡市長は次のように話された。

「旧厚田村・浜益村との合併を経て、日本海に面し南北に長く伸びる石狩市には、生活環境の異なるさまざまな地域が存在しています。

都市部から離れた地域で、教育施設が豊富にある都市部に遜色ない教育機会を提供し、教育の質を高め、地域による教育環境の格差をなくすことが使命です。

確かな学力を身につけることは、これからの時代を生き抜くにあたって、いわば生活の糧となるものです。グローバル時代には、英語の語学力も不可欠でしょう。ICTを活用することで、確かな学力が身に付くことに期待しました。

南北に長い石狩市においては、過疎地と都市部の物理的な距離を縮めるにも、ICTは最適な手段といえます。

ICTを活用した授業は、児童の関心を高め、学力の向上や郷土愛の涵養に役立つものと確信しています。」

(NTT東日本インタビューから)



(3) 本校の学力向上に対する考え方とICT機器の活用

本校では、石狩市と石狩市教育委員会のご支援に応え、ICT機器を子どもたちの「生きる力」を育てる重要な手段として位置付け、活用のための構想を立てて実践に努めている。

- ① 学力向上のための活用・・・学力分析から明らかになった課題を解決するための活用
- ② 郷土愛涵養のための活用・・・地域学習の発信などにより、郷土の良さを発見するための活用
(第1回 検討委員会で具体的内容を報告済み)
- ③ 広い視野を育てるための活用・・・外国の学校を含めた他校との交流。

2.浜益小学校の国際交流教育

(1) 朝日新聞1面「教育あしたへ。カナダと交流」

「29日、北海道石狩市立浜益小学校。過疎地にある学校の児童は60人。世界をもっと広げたいと、総合学習で4年生がカナダの交流校へのメッセージを書いた。

「児童は少ないけれど、明るくて、いつも元気」「いろいろなくだものが作られています」

子どもたちは12人の机に1台ずつ置かれたタブレットパソコンにメッセージを打ち込んだ。それは瞬時に、子どもの顔写真とともに電子黒板に表示された。石狩国際交流協会の人に英語に翻訳してもらい、郵送する予定だ。」

(12月8日)

宿題もタブレット

あしたへ
カナダと交流

29日、北海道石狩市立浜益小学校。過疎地にある学校の児童は60人。世界をもっと広げたいと、総合学習で4年生がカナダの交流校へのメッセージを書いた。

「児童は少ないけれど、明るくて、いつも元気」「いろいろなくだものが作られています」

子どもたちは12人の机に1台ずつ置かれたタブレットパソコンにメッセージを打ち込んだ。それは瞬時に、子どもの顔写真とともに電子黒板に表示された。石狩国際交流協会の人に英語に翻訳してもらい、郵送する予定だ。」

教室に三種の神器

朝日新聞
2011年(平成23年)
12月8日
木曜日

(2) 交流相手は姉妹都市の学校

この記事が掲載された12月8日に「カナダの交流校」が決まった。石狩市の姉妹都市であるキャンベルリバー市のオーシャングローブ小学校である。全校児童162人の学校で、3人の日本人の子どもが通学しているようだ。

今年から小学校外国語活動が始まった。子どもたちの視野を広げこれからの社会で通用する英語力を育てることをめざして、国際交流を進めることを計画し、石狩国際交流協会に相手校を探していただいていた。交流の方法は「デイベアプロジェクト」といって人形を相互に留学させ、人形が留学先で体験した出来事を子どもたちが代わりに電子掲示板に書き込む iEARN のプログラムを中心とし、テレビ会議なども併用する。写真は八田美津さんに作っていただいた学校（ちょっと昔？）の情景である。この中からりょうし君とのかさんの二人が、4年生と5年生が書いたメッセージを持ってカナダに旅立つ。どんな体験を報告してくれるか楽しみだ。



八田さんと校長先生が作った(ちょっと昔?)教室



留学する「りょうしくん」と「のかさん」



メッセージ: 4年生は地域の紹介



5年生は学校の紹介

(3) カナダから、グリちゃんとマックス君が到着(1月23日)

オーシャングローブ小学校からやってきたのは、グリズリーベア（熊）のグリちゃんと、ムース（へら鹿）のマックス君。早速全校集会で、子どもたちに紹介した。とてもきれいな刺繍がされているが、これは、トーテムポールで知られているカナダ先住民族の伝統的な模様である。



オーシャングローブ小学校の4年生
マックス君(右)とグリちゃん(左)

グリちゃんは4年生と一緒に
マックス君は5年生と一緒に生活



(3) ぐりちゃんとマックスくんのホームステイ

スキーに一緒に行ったり、家族とご飯を食べたり、一緒に寝たり楽しく過ごしている。



こんなことも

若菜さんといっしょに週に一度の書道を習いに行きました。『谷、川、水、音』の四文字を書きました。ぼくもやってみたら、むずかしかったけど初めてにしては、上手にできました。若菜さんは、今、準四段で、筆使いが上手だと思いました。

どういふわけか、若菜さんの家には、りょうしとうかのおじいさん、おばあさんと思われる人たちがいました。すぐに仲良くなっていっしょに写真をとりました。

(4) りょうし君とのかさんは……？

バレンタインデーを楽しむ りょうし君。2月16日

"Friendship Day at Ocean Grove"

Today is February 14th, Valentine's day. Do you celebrate Valentine's day? It is a day where we celebrate friendship by giving our friends cards and treats to show them how much we appreciate them. We included Ryoshi and Noka in this special day. Here are some pictures of them around our classroom on Valentine's day.



のかさんも、一緒にホームステイ
カードや甘いもの(treats)を入れてもらう自分のポストボックスを椅子につけているりょうし君

「オーシャングローブで友情の日」

今日は2月14日。ヴァレンタインデーです。

あなたたちはヴァレンタインデーを祝いますか？

友だちにカードや甘いもの（キャンディーやクッキー）をあげたりして、どれほどかれらに感謝しているかを示して、友情を祝う日です。

私たちはこの特別の日をRyoshiとNokaと一緒に過ごしました。

ヴァレンタインの日に私たちの教室の近くで写した何枚かの写真があります。

ALTのローラさんは、ブリティッシュコロンビア州の出身。

子どもの頃に、椅子にポストボックスを付けて同じことをしたことがあるそうだ。

バレンタインデーが「友情の日」。ちょっとした文化の学習ができる。

3. テディベアプロジェクトはマスコットの実物交換を通じた交流プログラム

交流する双方の学校が用意したマスコットを宅配便で相互に交換し、そのマスコットをシンボルとして交流を進めていく。そして、お互いの日常生活や行事等の様子を、「マスコットの視線による旅日記」風にフォーラム（電子掲示板）を使用して、つづることを通じて交流し合う。具体物で相手のイメージを膨らませ、相手意識を高めるねらいがある。教育分野の交流を推進する

国際機関「iEARN」(左)が提案し、実績のあるプログラム。フォーラムも「iEARN」から提供していただいている。

j EARNの皆さんも、小学校の外国語活動が始まった現在、テディベアプロジェクトが非常に効果的なコンテンツであると再認識されているようである。

The image displays two screenshots of the iEARN website. The top screenshot is the English version, showing a forum post titled "Thanks for the wonderful dolls" by Ryuichi Ishiguro, dated Jan 25, 2012. The post includes a photo of two teddy bears and text in English. The bottom screenshot is the Japanese version of the same forum page, titled "浜益のためにTBP(ED)". It features a navigation menu in Japanese, a sidebar with "ヒント" (Tips) and "質問がありますか?" (Do you have questions?), and a list of forum posts with user avatars and timestamps.

世界中の言葉を選ぶことができるが、英語を読むのも楽しみ

参考情報(テディベアプロジェクト)

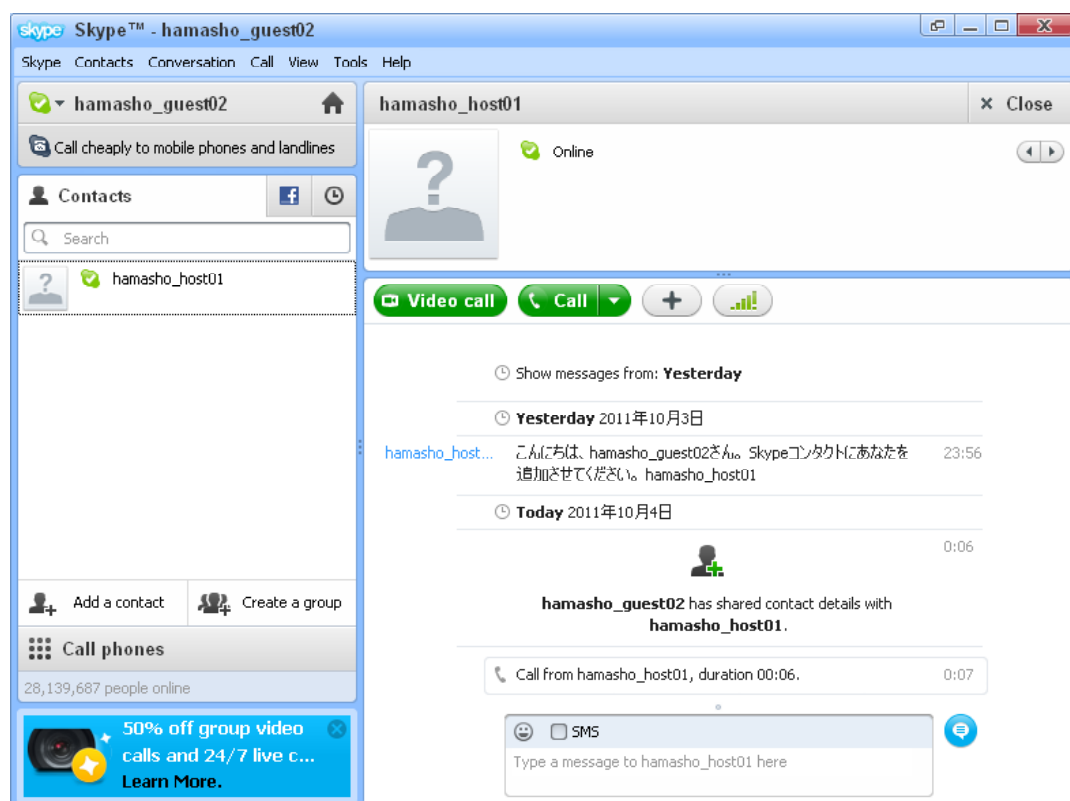
<http://www2.earn.jp/fs/1191/index.htm> (日本支部のHP)

<https://media.earn.org/projects/teddybear> (本部のHP)

<http://www.earn.org/impact/videos/teddy-bear-project> (説明ビデオ)

4. 今後の予定

テディベアプロジェクトに加えて、スカイプを活用したテレビ会議も併用する準備を進めている。また、絵などの作品の交流も計画している。



本校をホスト、オーシャングローブをゲストとして設定したハードとソフトをプレゼント済み。

5. 補足情報

- (1) 交流時期と対象学年
 - ・ 10月（後期）開始 9月（前期終了時）終了（カナダのスクールカレンダーに対応）
 - ・ 相手校と調整して、再度開始。
 - ・ 対象学年 開始時に4年・5年 終了時に5年・6年

- (3) 相手校の情報
 - 1) School name: Ocean Grove Elementary
 - 2) Teacher: Erin Kolmatycki (grade 4) Boyd (Acting Principal) Ladona Blouin (Secretary)
 - 3) School Address: 3773 McLelan Road Campbell River, B.C V9H1K2
 - 4) Country: Canada
 - 5) School telephone: (250) 923.4266 Fax: (250) 923.2589
 - 6) Year level/grade: K - 6
 - 7) Age of Students:
 - 8) The number of children: 162 (as of September 2011)
 - 9) Email address: erin.kolmatycki@sd72.bc.ca--
 - 10) School year and vacation period: Christmas break is from December 16, 2011- January 3, 2012. Spring break is from April 2, 2012- April 16, 2012. School finishes on June 28, 2012.